

(様式3)

【松江市学校用】

ふるさと教育 取組事例

学校名	松江市立鹿島東小学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
5	総合的な学習 の時間	防災について考えよう	<ul style="list-style-type: none"> ・市防災安全課の方、地域の防災士 ・校区にある危険個所 ・地域の回覧板
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら課題を見だし、進んで地域の方の話の話を聞いたり、一緒に体験したりすることができる。(情報活用能力) ・活動を通して、自分にできることを考え、生活の中に生かすことができる。(問題発見・解決能力) ・自分の思いを相手に分かりやすく表現したり、友達と協力し合って活動したり、お互いに学び合おうとすることができる。(言語能力) 		
<p>1 取組の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災という言葉から広がるイメージマップ作り ・松江市で過去に起こった災害、身近にひそむ危険、非常食、防災グッズについて知る(市防災安全課の方) ・ハザードマップを知る(市防災安全課の方) ・小学生のぼうさい探検隊マップを作成する(市防災安全課の方、地域の防災士) ・避難所体験、HUG体験(市防災安全課の方) ・家庭や地域へ回覧板を使って発信 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>(ハザードマップの見方を学ぶ様子)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>(フィールドワーク時の様子)</p> </div> </div>			
<p>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。</p> <p style="text-align: center;">(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・命を守るためにできることを考える必要性を感じたり、地域への発信をしたいという思いをもたせたりするために、身近で起きた災害を知る時間を設定した。 ・当事者意識をもたせるために、夏季休業を利用して、家の周りにある危険個所を家族で確認する課題を出した。 ・何気なく暮らしている身近な傾斜や池なども危険個所だと知るために市防災安全課の方、地域の防災士を講師にフィールドワークを行った。 <p style="text-align: center;">(学力育成の視点から)</p> <p>理科…自然災害との関連として、第4学年「雨水の行方と地面の様子」、第5学年「流れる水のはたらきと土地の変化」、「天気の変化」、第6学年「土地のつくりと変化」と関連付けた学習として取り組んだ。</p> <p>社会…第5学年「我が国の国土の自然環境と国民生活の関わり」、第6学年「我が国の政治の働き」と関連付けた学習を展開した。また、番組作成をする過程で、第5学年「我が国の産業と情報との関わり」の学習と関連付けた学習を行った。</p> <p>他にも、国語の事実と考えを区別して書いたり、資料を活用して報告したりするという書く学習や算数の割合を生かしたまとめなど複数教科にまたがった。</p> <p>学校図書館の活用(図書館司書との連携)も行い、必要な情報選択をする能力の育成もはかった。</p>			

*取組の様子がわかるような写真を数枚貼り付けてください。

(このデータをHP等に掲載することがありますので、写真は必ず承諾を得たものを貼り付けてください。)

3 児童・生徒に見られた変容（どのような力が身に付いたか等）

（ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から）

- ・住んでいるところに多くの危険がひそんでいることに驚き、災害への備えをする大切さと家族で考える必要性を感じた。
- ・今年度は7月の豪雨で学校の前が冠水したこともあり、ハザードマップに掲載されていない自分たちで見つけられる危険を考えようという気持ちが高まった。
- ・学んだこと（非常持ち出し品の準備、避難の仕方を考えることなど）を発信することで、地域の方の命を救うことができると感じ、まとめに意欲的に取り組んだ。

（学力育成の視点から）

- ・総合的な学習の時間に調べ学習を行っている中での理科「天気の変化」の学習だったので、天気は西から東へ変わることに、梅雨前線、台風について知っていることを確かめるように観察をする時間になった。
- ・理科「流れる水のはたらきと土地の変化」の学習では、土砂災害が起きる仕組みと関連付けて学習を行い、水の流れと傾斜に着目した実験を行うことができた。
- ・社会「我が国の産業と情報との関わり」の学習の発展として、映像制作を行った。ニュース番組ができるまでについて学んだことをもとにして、役割分担をして、情報を正確に、短く伝えることを意識した。
- ・アンケートを実施した結果をまとめる際には、円グラフを作成したいという気持ちを持ち、割合の学習の素地となる経験をした児童もいた。
- ・図書資料を使った引用や要約、まとめ時には参考文献の書き方を学ぶことができた。

4 課題や今後の展望

- ・市防災安全課の方と連携をして、出前授業や避難所体験、HUG体験などをさせていただいた。活動はとても有意義であったが、「自分の命は自分で守るためにはどうしたらよいのか」といった課題意識をもたせるための取組を設定する必要がある。
- ・活動を始めるにあたり、地域に住んでおられる防災士の方のお話を教室で聞く機会を設定できるとよかった。
- ・自助、共助、公助の仕組みを学ぶことで、共助のために小学生でもできることを考え、地域に発信していけるようになると良い。
- ・第5学年で防災について学んだ経験をもとにして、第6学年の理科「土地のつくりと変化」や社会「我が国の政治の働き」の学習を展開すると、具体的な事象をもとにして考えることができ、教育的効果の向上が期待される。

*取組の様子がわかるような写真を数枚貼り付けてください。

（このデータをHP等に掲載することがありますので、写真は必ず承諾を得たものを貼り付けてください。）